



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 6 月 27・28 日(月)
東北風景街道協議会のアドバイザー視察 編

今月は重要な視察が、もう一つ。

昨年度 3 月に仙台で行われた東北風景街道協議会の中で提案があった現地視察。机上だけのアドバイスではなく現地で直接指導を、という堀繁先生の提案が現実となり、「のしろ白神の道」の視察にお見えになることになりました。

視察団は堀繁氏(東京大学アジア生物資源環境研究センター・教授)、志賀秀一氏(東北地域環境研究室・代表)、堀温子氏(東京大学アジア生物資源環境研究センター・研究員)、東北地方整備局道路計画課の簾内章也氏、宍戸英雄氏、阿部浩紀氏がお越し下さり、ご案内は能代河川国道事務所調査第二課の岡部武彦氏、川口文弘氏、木高研の佐々木貴信先生、渡辺千明先生と大変豪華な顔ぶれ！

それなのに、中身(実績)が伴わないことに申し訳ないやら恥ずかしいやら。でも、精いっぱいの中、何とかパワーアップをしたいという願望は捨ててはおりません。会津若松との姉妹街道協定の締結案もできていますが、できれば会津のようにハード、ソフトの両面において結果を出したいと思うのですが、マンパワー不足と行政の後押しも脆弱な状況…。でも、まだまだ磨かれていない原石が転がっているような気がするのですが。そんな中、堀先生のアドバイスは実に説得力があり、何回お聞きしても納得のいくご指導です。

秋田空港からほつとステーションに直行していただき、家主が戻られてから台所・トイレが使用できなくなり、空き店舗のみの使用となったことに落胆されていました。でも、平山はかり店への道すがら、まちの景観や植栽のポインの提案をして下さり、視点を変えることで可能性が生まれることを教えて下さいました。

平山さんは、3 年前の堀先生のアドバイスを忠実に実行し店舗はガラッと変わりました。アルミサッシはシルバーから茶色に。蛍光灯を外し丸い和紙ライトに変えて目の高さの設置。展示物の配置など、それは素晴らしい変化です！！

先生も平山さんを「私の二番弟子」とおっしゃいます。そんな訳で、人間やっぱりやる気だと痛感する毎日です。

先生のアドバイスの中に、人間は高い所に目が行くという心理。道路のベンチは誰のためにあるのか(配置)→人が中心→おもてなしに繋がる。先生は重いリュックを地面に置き、真剣に私たちに語りかけて下さり、映像ではなく、実際に自分たちの「まち」で直接指導していただける幸せをひしひしと感じ、こんな贅沢があって良いものだろうかと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

志賀さんも3月に初めてお話した方で能代に訪れたこともあるそうです。「人が歩いている」という感想をいただきました



堀先生のご指摘とアドバイスは具体的なのでどこをどのように改善すれば良いのかが大変分かりやすいので有り難いです。来春の沿道はもっときれいになるでしょう(上)。二番弟子へのアドバイスにもみな、聞き入ります(下)。



7号沿道の社会実験、木の香る道づくりもご覧いただき、除雪時の工夫なども知っていただきました(上)。木高研では、雪払い欄もみていただきました(下)。



交流会では夜遅くまで熱いトークが交わされ、次へのステップが期待されます。

**こんなことあったよ！** のしろ白神ネットワークの活動レポート

たが、それは誰もが感じていることで困った現状です。そんな中でも、観光重視よりもそこに住んでいる人が暮らしやすい地域づくりをすることが、観光にも繋がって行くとお話下さいました。高齢化が進み、ますます衰退する中で地域に根をはり活動することは大変難しいことですが、こうしてたくさんの方々に支援していただく環境は一方的に望んで実現するものでもなく、これまでのNWでの実践の賜物とっております。この大切な繋がりを無駄にすることなく「猫に小判」となぬよう、実践して行きたいものです。

懇親会も楽しい交流ができ、岡部課長が夏のまち灯りにメダカすくいコーナーをして下さるとい嬉しいお話を伺いました。楽しみにしてますよ〜♪

今年から木材高度加工研究所に勤務されている足立幸司准教授は、昨年まで堀先生と同じ研究室にいらしたそうで、懐かしい再会となりました。NW参加者は常盤ときめき隊(石川さん、小林さん、岩村さん)、手這坂活用研究会(大高会長)上町すみれ会(平山さん、能登)、能代市(小野さん)、事務局(渡辺先生、佐々木先生)と、皆さん忙しい時間をやりくりしての出席ですが、収穫の多いひと時だったと思います。

さて、二日目は車2台で手這坂・毘沙門憩いの森公園に行き、常盤四日市にある集会場で、志賀氏と堀先生からご講話をいただきました。飛行機の時間を気にしながら、短い時間の中で景観や店舗にどう人を呼び込むかなど、収益を生み出す工夫、おもてなしの重要性を学びました。その後いつもの絶品チヨ鶏スープの常盤だまこ鍋や地場産野菜のサラダや漬物をいただき、時間の限りさまざまなアドバイスをいただきました。

堀先生には「困ったら何時でも連絡を下さい」と優しいお言葉をいただき、志賀さんは、お帰りになってから沢山のまちづくり資料を送って下さいました。その中にお手紙が入っており、「短い時間ではありましたが、好天に恵まれ、何よりも皆様方の心暖まるおもてなしの数々に刺激を受けて帰ってきました。まちづくりにはゴールがありません。息切れしない様にやりぬいていただきたいと思います。縁ができた人達は皆応援団ですのでポコポコになりそうな時には信号を出して下さい。助けに参上いたします」という文面。感激で目頭が熱くなりました。こうした温かい励ましをいただくと何だか勇気が湧いてきます！根気良く、諦めない活動を目指したいと思います。

6月は2度に渡る視察で事務局や能代河川国道事務所、いつも美味しい昼食を準備して下さいました常盤ときめき隊の方々には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。この貴重な出会いを活かして行きましようね♪♪

文： 能登 祐子



手這坂の視察、前は雪の季節でしたが観光ハイシーズンの実態をご覧いただきました。ここにしかないもの、わざわざ来てもらうにはどうしたら良いか、大きな課題です。



常盤の毘沙門憩いの森公園では、佐々木先生の案内で、木の香る道づくり・郊外版をご覧いただきました。



予定した視察先を全て回ったあとは、全体を通して講師の先生からのレクチャーです。こういう具体的で次につなげられる分かりやすいお話をいただくと、準備をした方も報われます。



勉強が終わると、みんなでお昼です。この日も、常盤ときめき隊ご自慢の品々を美味しくいただきました。お忙しい中、遠路おいでくださった講師の先生方、ありがとうございました。